

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-23264

(P2010-23264A)

(43) 公開日 平成22年2月4日(2010.2.4)

(51) Int.Cl.
B43L 19/00 (2006.01)F I
B43L 19/00

テーマコード (参考)

H

審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2008-184537 (P2008-184537)
(22) 出願日 平成20年7月16日 (2008.7.16)(71) 出願人 000001351
コクヨ株式会社
大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
(74) 代理人 100085338
弁理士 赤澤 一博
(72) 発明者 松下 欣也
大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨS&T株式会社内
(72) 発明者 嶋 秀人
京都府八幡市欽明台西7-2

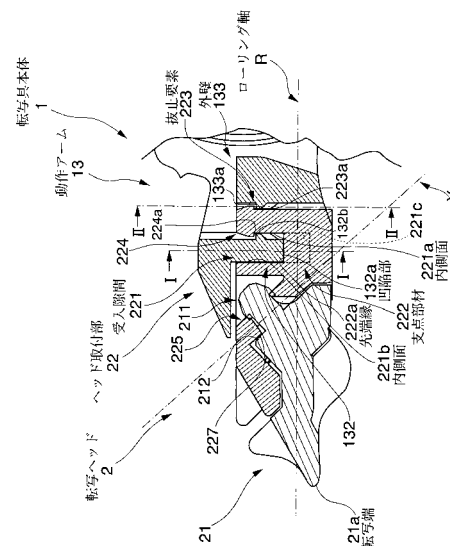
(54) 【発明の名称】 転写具

(57) 【要約】

【課題】 揺動動作可能な構成を有してもコンパクトにし得る転写具を提供する。

【解決手段】 転写具Aは、転写ヘッド2をローリング軸R回りに揺動し得るようにして転写具本体1に支持させる支持機構Xが、転写ヘッド2に設けられローリング軸Rに直交する後述する受入隙間221を有してなる第1部材たる転写ヘッド2と、転写具本体1側に設けられ、受入隙間221に挿入され該受入隙間221の対向する内側面221a、221bに沿って相対的に揺動可能な挿入壁132を有してなる第2部材たる動作アーム13とを備え、転写ヘッド2の受入隙間221内に、挿入壁132がローリング軸R回りに揺動し得るように位置規制する内側面221a、221bの離間寸法に対応した支点部材222を設けていることを特徴とする。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

転写具本体と、この転写具本体から突出する転写ヘッドと、この転写ヘッドをローリング軸回りに揺動し得るようにして前記転写具本体に支持させる支持機構とを具備してなるものであって、

前記支持機構が、前記転写ヘッドおよび前記転写具本体の何れか一方に設けられ前記ローリング軸に直交する受入隙間を有してなる第1部材と、この第1部材の受入隙間に挿入され該受入隙間の対向する内側面に沿って相対的に揺動可能な挿入壁を有してなる第2部材とを備えたものであり、前記第1部材の受入隙間内に、前記挿入壁が前記ローリング軸回りに揺動し得るように位置規制する前記隙間の離間寸法に対応した支点部材を設けていることを特徴とする転写具。

10

【請求項 2】

前記支点部材が、前記第1部材に一体に設けられたものであり、この支点部材によって前記受入隙間の内側面同士を結合している請求項1記載の転写具。

【請求項 3】

前記転写ヘッドを、前記第1部材としている請求項1又は2記載の転写具。

【請求項 4】

前記支点部材が、前記受入隙間の内側面に直交配置したリブ状のものであり、前記支点部材の先端縁を前記ローリング軸を中心とする半円筒形状のものにし、この先端縁に前記挿入壁の挿入縁に設けた凹陷部を揺動可能に係り合わせている請求項1、2又は3記載の転写具。

20

【請求項 5】

前記受入隙間外に、前記挿入壁が前記支点部材から離脱するのを防止する抜止要素を設けている請求項1、2、3又は4記載の転写具。

【請求項 6】

前記第2部材が、挿入壁に対して平行に起立する外壁をさらに設け、前記抜止要素を前記外壁に係り合うものとしている請求項5記載の転写具。

【請求項 7】

前記挿入壁を、上側から前記受入隙間に挿入するものとしている請求項1、2、3、4、5又は6記載の転写具。

30

【請求項 8】

前記支持機構を、前記転写具本体に設けられ転写ヘッドを転写可能に配置する転写位置と、転写ヘッドを転写具本体内に收容し得る收容位置との間で收容し得る收容位置との間で動作し得る動作アームに前記第1部材又は前記第2部材の何れか一方を設けたものとしている請求項1、2、3、4、5、6又は7記載の転写具。

【請求項 9】

前記転写ヘッドを收容位置とした際に交換部品を交換し得るように構成している請求項7記載の転写具。

【請求項 10】

前記転写ヘッドを、当該転写ヘッドの転写端から基端側に変位した位置に設定された軸心周りに幅方向に首振動作可能に構成したものとしている請求項1、2、3、4、5、6、7、8又は9記載の転写具。

40

【請求項 11】

前記転写ヘッドを、先端において転写物を転写する転写端を有するヘッド本体と、当該ヘッド本体を支持するヘッド取付部とを有するものとし、前記ヘッド本体を前記ヘッド取付部に対して首振動作可能に構成している請求項10記載の転写具。

【請求項 12】

前記転写具本体と前記ヘッド取付部との間に前記支持機構を設けるとともに、ヘッド本体の転写端がローリング軸の軸心を延出させた仮想の軸線よりも下側に配置されるものとしている請求項11記載の転写具。

50

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、粘着剤や修正剤の転写物を紙などに転写し得る転写具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、テープに塗布された修正剤や粘着剤といった転写物を紙などの対象物へ転写し得る転写具が種々提案されている。

【0003】

これらのものは、転写具本体を手で掴んだ状態で対象物へ転写ヘッドを押し付けることにより、転写ヘッドの先端において支持されたテープから転写物が転写されるものである。これらのようなもののなかで、たとえば、転写ヘッドの先端において、テープに塗布された転写物がテープの全幅において確実に対象物へ転写できるように、転写具本体に対してヘッドが所定範囲、テープ並びに転写ヘッドの延出方向をローリング軸として揺動し得る構成が採用されたものが提案されている（例えば、特許文献1及び特許文献2参照）。

【0004】

特許文献1に記載のものは、転写具本体に取り付けられたローリング軸に沿って設けられた転写ヘッドの一部がねじれるように弾性変形することにより、転写具本体に対して転写ヘッドの先端が弾性変形の範囲で動き得るものも提案されている。このような揺動動作により、転写開始時或いは転写動作中の手指のずれや細かな動きなどで転写物が正確な形状で転写されなくなること、具体的にはテープの幅寸法よりも細い範囲でしか転写物を転写し得ないという不具合を回避し得るものとなっている。

【0005】

他方、特許文献2に記載のものは、転写ヘッドのローリング軸に直交する方向に開口を設け、転写具本体に設けた突起に前記開口を挿通させることにより、突起が転写ヘッドを支持しつつ、突起に対して接する開口内壁の形状を設定することによって、転写ヘッドが突起に支持されながらローリング軸周りに回動し得るものとなっている。このようなものであっても、上述の手指のずれや細かな動きを、上述の回転範囲で許容し得るものとなっている。

【特許文献1】特開2006-281495号公報

【特許文献2】特開2003-2522号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、特許文献1に記載されたもののよう弾性変形を利用して転写ヘッドを手指の動きを十分に許容し得るまでに動作させ得る構成とするためには、転写具本体に固定され且つ弾性変形する部位の寸法、特にローリング軸方向の寸法を大きく設けなければならない。

【0007】

他方、特許文献2に記載したような回転動作し得るものであると、突起に対して転写ヘッドがローリング軸周りのみの動作をするような開口内壁の形状とした場合、特に突起を中心とした転写ヘッドの不必要な動作を回避するためには、転写ヘッドに設けた開口のローリング軸に沿った寸法を大きく設定するか、或いは開口以外の箇所にさらに転写具本体に支持されるための箇所を設けなければならない。そうすると上述の特許文献1同様に、ローリング軸方向の寸法を大きく設けなければならない。

【0008】

本発明は、このような不具合に着目したものであり、揺動動作可能な構成を有してもコンパクトにし得る転写具を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本発明は、このような目的を達成するために、次のような手段を講じたものである。すなわち、本発明に係る転写具は、転写具本体と、この転写具本体から突出する転写ヘッドと、この転写ヘッドをローリング軸回りに揺動し得るようにして前記転写具本体に支持させる支持機構とを具備してなるものであって、前記支持機構が、前記転写ヘッドおよび前記転写具本体の何れか一方に設けられ前記ローリング軸に直交する受入隙間を有してなる第1部材と、この第1部材の受入隙間に挿入され該受入隙間の対向する内側面に沿って相対的に揺動可能な挿入壁を有してなる第2部材とを備えたものであり、前記第1部材の受入隙間内に、前記挿入壁が前記ローリング軸回りに揺動し得るように位置規制する前記隙間の離間寸法に対応した支点部材を設けていることを特徴とする。

【0010】

10

ここで、上記受入隙間というように「隙間」とは、ヘッドの延伸方向よりも当該延長方向に直交する方向の寸法が大きい開口又は切欠を指すものとする。

【0011】

このようなものであれば、受入隙間に挿入壁が挿入する際に、ローリング軸周りの動作を支点部材と挿入壁により実現するのみならず、揺動動作以外の動作の際には受入隙間の内側面を挿入壁とが当接することにより有効に防止する構成とすることができる。そのため、揺動のために必要な転写ヘッドの寸法は受入隙間の離間寸法のみによって実現されるので、転写ヘッドを、とくにテープの延出方向にコンパクトに設定し得るものとなる。そうすることにより、転写物の転写の確実性を維持しつつ、転写ヘッドに他の方向の動作性能を付与したり、交換部品の交換のための転写ヘッドを例えば転写具本体内に退避せたりするといった態様を容易に実現することができる。

20

【0012】

そして、支点部材により、さらに強度の高い支持機構を実現するためには、支点部材を、第1部材に一体に設けたものとし、この支点部材によって受入隙間の内側面同士を結合することが望ましい。そして、よりコンパクトに転写ヘッドを構成するためには、第1部材の方を転写ヘッドとする構成が望ましい。

【0013】

よりスムーズな揺動動作を実現するための具体的な構成として、支点部材を、受入隙間の内側面に直交配置したリブ状のものとし、支点部材の先端縁をローリング軸を中心とする半円筒形状のものにして、この先端縁に挿入壁の挿入縁に設けた凹陷部を揺動可能に係り合わせている構成を挙げることができる。

30

【0014】

そして支持機構における転写具本体と転写ヘッドとの係り合いをより確実なものとするためには、受入隙間外に、挿入壁が支点部材から離脱するのを防止する抜止要素を設けることが望ましい。

【0015】

加えて、第2部材が、挿入壁に対して平行に起立する外壁をさらに設け、抜止要素を外壁に係り合うものとすれば、強度の高いものとすることができるので、受入隙間の離間寸法や挿入壁の厚み寸法をより小さくコンパクトに構成しても十分な強度並びに安定した揺動を実現することができる。

40

【0016】

そして、転写の際に掛かる押圧力などの転写時の操作力に対して好適に耐え得るものとするためには、挿入壁が、上側から受入隙間に挿入するものとして、転写時に掛かる下側からの操作力を受けると、支点部材と挿入壁との係り合いがより強くなる構成とすればよい。

【0017】

そして、上述の構成を利用して、支持機構を、転写具本体に設けられ転写ヘッドを転写可能に配置する転写位置と、転写ヘッドを転写具本体内に収容し得る収容位置との間で動作し得る動作アームに第1部材又は第2部材を設けたものとするれば、転写ヘッドの動作範囲をよりコンパクトなものとすることができ、その結果、転写ヘッドを収容位置とした際

50

の交換部品の交換にも好適に対応し得るものとなる。

【 0 0 1 8 】

そして、転写時により安定して転写物を転写するための構成として、さらに、転写ヘッドの転写端から基端側に変位した位置に設定された軸心周りに幅方向に首振動作可能に構成したものを挙げることができる。そのための具体的な構成としては、転写ヘッドが先端において転写物を転写する転写端を有するヘッド本体と、当該ヘッド本体を支持するヘッド取付部とを有するものであり、ヘッド本体をヘッド取付部に対して首振動作可能に構成したものを挙げることができる。

【 0 0 1 9 】

また首振動作を採用した態様の場合、首振動作によって転写ヘッドに加えられた押圧力が首振動作によって逃げてしまうことを有効に回避して、確実に転写端が転写対象物を押圧し得る構成するためには、転写具本体とヘッド取付部との間に支持機構を設けるとともに、ヘッド本体の転写端がローリング軸の軸心を延出させた仮想の軸線よりも下側に配置されるものとするのが望ましい。

【 発明の効果 】

【 0 0 2 0 】

本発明によれば、揺動動作以外の動作の際には受入隙間の内側面を挿入壁とが当接することにより有効に防止する構成とすることができる。そのため、揺動のために必要な転写ヘッドの寸法は受入隙間の離間寸法のみによって実現されるので、転写ヘッドを、とくにテープの延出方向にコンパクトなものとするができる。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 2 1 】

以下、本発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。なお本実施形態において、転写ヘッド 2 並びに巻取リールに巻回並びに架け渡している転写テープの図示を省略するものとする。

【 0 0 2 2 】

本実施形態に係る転写具 A は、テープに転写物としての修正剤を塗布した転写テープを内蔵し、紙などの転写対象物に修正剤を塗布するタイプのものであって、図 1 に示すように、転写具本体 1 と、転写ヘッド 2 とを主に有するものであり、紙などの転写対象物に対して転写具本体 1 を縦向きにした状態で転写ヘッド 2 を押圧する、いわゆる縦引きタイプのものである。

【 0 0 2 3 】

転写具本体 1 は、転写ヘッド 2 をはじめ主たる機構部品を支持している第 1 ケース 1 1 と、交換部品であるリフィル 1 4 と、第 1 ケース 1 1 に係り合う第 2 ケース 1 2 とを主に有している。

【 0 0 2 4 】

第 1 ケース 1 1 は、図 2 及び図 3 に示すように、当該第 1 ケース 1 1 の主体をなす第 1 ケース本体 1 1 0 に対し、巻取リール支持部 1 1 1 と、介在ギア 1 1 2 と、繰出リール支持部 1 1 3 と、後に詳述する動作アーム 1 3 とを組み付けてなるものである。第 1 ケース本体 1 1 0 は、内面側に動作アーム 1 3 を回転可能に取り付ける動作アーム取付部 1 1 a と、動作アーム 1 3 に係り合うことにより転写ヘッド 2 を転写位置 (T) に位置付けるための転写位置ストッパ 1 1 b と、転写ヘッド 2 に当接して当該転写ヘッド 2 を収容位置 (S) へ位置決めするための収容位置 (S) と、動作アーム取付部 1 1 a と同軸に形成され、巻取リール支持部 1 1 1 を支持する巻取軸 1 1 d と、介在ギア 1 1 2 を支持する介在ギア取付軸 1 1 e と、繰出リール支持部 1 1 3 を支持する繰出軸 1 1 f とを有している。そして、巻取リール支持部 1 1 1 は、第 1 ケース 1 1 側において介在ギア 1 1 2 に噛合する図示しない巻取ギアを有するとともに、第 2 ケース 1 2 側において巻取リール 1 4 1 を支持しているものである。繰出リール支持部 1 1 3 は、第 1 ケース 1 1 側において介在ギア 1 1 2 に噛合する繰出ギアを形成するとともに、第 2 ケース 1 2 側において繰出リール 1 4 3 を支持している。なお本実施形態では、繰出リール支持部 1 1 3 と繰出リール 1 4 3

とは、をテープが一定以上の力で引っ張られることによって相対的に回転可能に支持することにより、すべり機構を構成している。このすべり機構により、繰出リール 1 4 3 から転写ヘッド 2 を経て巻取リール 1 4 1 へと架け渡されるテープが、常に最適な強さの張力を有した状態が維持されるものとなっている。

【 0 0 2 5 】

そして動作アーム 1 3 は、基端部 1 3 0 において上述の通り第 1 ケース本体 1 1 0 に形成した動作アーム取付部 1 1 a に回転可能に取り付けられるとともに先端部 1 3 1 において転写ヘッド 2 を、後述する支持機構 X を介して支持する、本発明に係る第 2 部材を構成するものとなっているが、この動作アーム 1 3 並びに支持機構 X の具体的な構成は、後に転写ヘッド 2 とともに詳述する。

10

【 0 0 2 6 】

リフィル 1 4 は、巻取リール支持部 1 1 1 に支持される巻取リール 1 4 1 と、繰出リール支持部 1 1 3 に支持される繰出リール 1 4 3 と、これらを仮保持する支持板 1 4 0 からなる交換部品である。

【 0 0 2 7 】

第 2 ケース 1 2 は、第 2 ケース本体 1 2 0 を主体とする、主に第 1 ケース 1 1 に係り合うことによって第 1 ケース 1 1 とともに転写具本体 1 の外形を形成するとともにリフィル 1 4 や内部の機構部品を保護するためのものである。また第 2 ケース本体 1 2 0 が第 1 ケース 1 1 0 に係り合うためのヒンジや係合構造については、本実施形態では詳細な説明を省略するものとする。

20

【 0 0 2 8 】

そして本実施形態では、図 3 に示すように、転写具本体 1 において動作アーム 1 3 を回転可能に取り付けることにより、当該動作アーム 1 3 が転写位置ストッパ 1 1 b に位置決めされた実線で示す転写位置 (T) と、動作アーム 1 3 が収容位置ストッパ 1 1 c により位置決めされた破線で示す収容位置 (S) との間で回転し得るものとなっている。なお本実施形態に係る転写具 A は、この収容位置 (S) では、転写ヘッド 2 は繰出リール 1 4 3 と巻取リール 1 4 1 との間の空間に位置付けられた状態となる。そしてリフィル 1 4 の交換の際は、まず第 1 ケース 1 1 と第 2 ケース 1 2 との係り合いを解除した後、転写ヘッド 2 を収容位置 (S) としてリフィル 1 4 を交換する。そして再び転写ヘッド 2 を転写位置 (T) として第 2 ケース 1 2 を再び第 1 ケース 1 1 に係り合わせることによって容易にリフィル 1 4 を交換し得るものとなっている。なお本実施形態ではリフィル 1 4 は支持板 1 4 0 ごと両ケース 1 1、1 2 内に収容される構成を開示したが、このリフィル 1 4 を取り付けた後、支持板 1 4 0 を取り外して繰出リール 1 4 3 及び巻取リール 1 4 1 のみを両ケース 1 1、1 2 内に収容する態様としても良い。

30

【 0 0 2 9 】

ここで、本実施形態に係る転写具 A は、図 4 乃至図 8 に示すように、転写ヘッド 2 をローリング軸 R 回りに揺動し得るようにして転写具本体 1 に支持させる支持機構 X を具備してなるものである。具体的には、この支持機構 X が、転写ヘッド 2 に設けられローリング軸 R に直交する後述する受入隙間 2 2 1 を有してなる第 1 部材たる転写ヘッド 2 と、転写具本体 1 側に設けられ、受入隙間 2 2 1 に挿入され該受入隙間 2 2 1 の対向する内側面 2 2 1 a、2 2 1 b に沿って相対的に揺動可能な挿入壁 1 3 2 を有してなる第 2 部材たる動作アーム 1 3 とを備え、転写ヘッド 2 の受入隙間 2 2 1 内に、挿入壁 1 3 2 がローリング軸 R 回りに揺動し得るように位置規制する内側面 2 2 1 a、2 2 1 b の離間寸法に対応した支点部材 2 2 2 を設けていることを特徴とするものである。

40

【 0 0 3 0 】

以下に、支持機構 X を構成する転写ヘッド 2 及び動作アーム 1 3 の構成及び動作について図 4 乃至図 8 を用いて説明する。ここで、図 4 (b) はヘッド取付部 2 2 の一部を破断して示した図である。また、図 6 (a) 及び (b) は、図 5 に係る I—I 線及び I I-I 線断面図であり、図 7 及び図 8 は、図 6 に対応させた動作説明図である。

【 0 0 3 1 】

50

動作アーム 13 は、上述の通り、第 1 ケース 11 に回転可能に取り付けられる基端部 130 と、転写ヘッド 2 を支持する先端部 131 とを有している。

【0032】

そして先端部 131 は、上側から受入隙間 221 に挿入可能な挿入壁 132 と、挿入壁 132 と平行に立設された外壁 133 とを有している。挿入壁 132 は、厚み寸法が受入隙間 221 の後述する内側面 221a、221b 間の寸法に略対応するように設けられ、両側から湾曲し下方へ湾曲しながら突出して後述の内側底面 221c に当接且つ摺動する当接面 132c と、当該当接面 132c の中央の挿入端において上方に凹ませた形状とした凹陷部 132a を形成している。また挿入壁 132 は、受入隙間 221 の内側で第 2 抜止要素 224 に係り合う第 2 係合面 132b を有している。外壁 133 は、基端側からヘッド取付部 22 に係り合うように、挿入壁 132 と平行に立設したものであり、受入隙間 221 の外側で抜止要素 223 に係り合う曲面である係合面 133a と、転写ヘッド 2 の揺動時の抜止要素 223 の揺動動作を許容する図 6 乃至図 8 に示す揺動空間 134 とを有している。

10

【0033】

転写ヘッド 2 は、先端において転写物を転写する転写端 21a を有するヘッド本体 21 と、動作アーム 13 に対しローリング軸 R 周りの揺動動作が可能に支持されるとともにヘッド本体 21 を首振動作可能に支持するヘッド取付部 22 とを有するものである。

【0034】

ヘッド取付部 22 は、ローリング軸 R に直交する方向に形成した受入隙間 221 と、受入隙間 221 の内側面 221a、221b 同士を結合するように内側底面 221c から隆起させて設けた支点部材 222 と、受入隙間 221 の外側において挿入壁 132 の抜脱を禁止する抜止要素 223 と、受入隙間 221 の内側において挿入壁 132 の抜脱を禁止する第 2 抜止要素 224 と、ヘッド本体 21 を挿入するヘッド本体 21 挿入穴 225 と、幅方向に首振動作を行ったヘッド本体 21 を弾性付勢する一対の弾性付勢部 226 と、ヘッド本体 21 に当接することにより首振動作を案内する首振面 227 とを有している。支点部材 222 は、受入隙間 221 の下端中央において内側面 221a、221b から一体に連続させて形成したリブ状のものであり、先端縁 222a を半円筒形状に形成することにより、挿入壁 132 の挿入縁に設けた凹陷部 132a を揺動可能に係り合うものとなっている。抜止要素 223 及び第 2 抜止要素 224 は、動作アーム 13 側に設けた係合面 133a 及び第 2 係合面 132b にそれぞれ係り合う抜止面 223a 及び第 2 抜止面 224a を有している。

20

30

【0035】

ヘッド本体 21 は、ヘッド取付部 22 の挿入穴 225 へ挿入する箇所である挿入部 211 と、挿入部 211 を挿入した際に首振面 227 に対して当接し摺動し得る当接面 212 とを有しており、当接面 212 が首振面 227 に沿って摺動すると、ヘッド本体 21 は、図 5 に示すヨーイング軸である首振軸 Y を中心に首振動作することが可能となっている。

【0036】

そして本実施形態では、図 5 に示すように、ヘッド本体 21 が首振動作する中心は、当該転写ヘッド 2 の転写端 21a から基端側に変位した位置となっている。そして併せてヘッド本体 21 の首振動作を行う中心は、支持機構 X により揺動動作する中心位置よりも転写ヘッド 2 の先端側に設けたものとなっている。更に本実施形態では、ヘッド本体 21 の転写端 21a は、同図に示すように、ローリング軸 R、詳細にはローリング軸 R を延伸させた仮想の軸線よりも下側に配置されるものとしている。

40

【0037】

しかして本実施形態では、支持機構 X を設けることにより、図 6(a) 及び図 6(b) に示した状態から、図 7(a)、図 7(b)、図 8(a) 及び図 8(b) に示すような揺動動作をし得るものとなっている。具体的には同図に示すように、受入隙間 221 に上側から挿入された挿入壁 132 の凹陷部 132a が支点部材 222 の先端縁 222a の表面に沿って回転動作し、且つ、挿入壁 132 の当接面 132 と受入隙間 221 の内側底面 2

50

2 1 c とが相対的に摺動することにより、安定したローリング軸 R 周りの揺動動作を実現している。またその際、抜止要素 2 2 3 は揺動空間 1 3 4 内を揺動するため、抜止面 2 2 3 a が動作アーム 1 3 側の係り合い面 1 3 3 a に干渉することなく、結果として先端縁 2 2 2 a と凹陷部 1 3 2 a との摺動によるスムーズな揺動動作が可能なものになっている。そして図示しないが、第 2 抜止要素 2 2 4 についても同様に、第 2 抜止面 2 2 4 a は第 2 係合面 1 3 2 b に干渉することなく、スムーズな揺動動作に寄与している。

【0038】

以上のような構成とすることにより、本実施形態に係る転写具 A は、受入隙間 2 2 1 に挿入壁 1 3 2 が挿入する際に、ローリング軸 R 周りの動作を支点部材 2 2 2 と挿入壁 1 3 2 により実現するのみならず、揺動動作以外の動作の際には受入隙間 2 2 1 の内側面 2 2 1 a、2 2 1 b と挿入壁 1 3 2 とが当接することにより有効に防止する構成とすることができる。そのため、揺動のために必要な転写ヘッド 2 の寸法は受入隙間 2 2 1 の離間寸法のみによって実現されるので、転写ヘッド 2 を、とくにテープの延出方向にコンパクトに設定し得るものとなる。そうすることにより、転写物の転写の確実性を維持しつつ、転写ヘッド 2 に他の方向の動作性能を付与したり、交換部品の交換のための転写ヘッド 2 を例えば転写具本体 1 内に退避させるということを実現している。

10

【0039】

さらに強度の高い支持機構 X を実現するために本実施形態では、支点部材 2 2 2 を、第 1 部材に一体に設けたものとし、この支点部材 2 2 2 によって受入隙間 2 2 1 の内側面 2 2 1 a、2 2 1 b 同士を結合したものとしている。そして、外力が直接加わる転写ヘッド 2 をコンパクトなものとしながらも強度の高い構成とするために、受入隙間 2 2 1 の内側面 2 2 1 a、2 2 1 b 同士を結合する構造を採用した第 1 部材を転写ヘッド 2 としている。

20

【0040】

支点部材 2 2 2 を、隙間の内側面 2 2 1 a、2 2 1 b に直交配置したリブ状のものとし、支点部材 2 2 2 の先端縁 2 2 2 a をローリング軸 R を中心とする半円筒形状のものにして、この先端縁 2 2 2 a に挿入壁 1 3 2 の挿入縁に設けた凹陷部 1 3 2 a を揺動可能に係り合わせている構成により、スムーズな揺動動作を実現している。

【0041】

そして支持機構 X における転写具本体 1 と転写ヘッド 2 との係り合いをより確実なものとするために、受入隙間 2 2 1 外に、挿入壁 1 3 2 が支点部材 2 2 2 から離脱するのを防止する抜止要素 2 2 3 を設けたものとしている。

30

【0042】

加えて挿入壁 1 3 2 に対して平行に起立する外壁 1 3 3 をさらに設けることにより、抜止要素 2 2 3 を外壁 1 3 3 に係り合う構成を実現して、より強度の高いものとしている。

【0043】

転写時の操作力に対して好適に耐え得るものとするために本実施形態では、挿入壁 1 3 2 が、上側から受入隙間 2 2 1 に挿入するものとして、転写時に掛かる下側からの操作力を受けると、支点部材 2 2 2 と挿入壁 1 3 2 との係り合いがより強くなる構成ととしている。

40

【0044】

そして、上述の構成を利用して、支持機構 X を、転写具本体 1 に設けられ転写ヘッド 2 を転写可能に配置する転写位置 (T) と、転写ヘッド 2 を転写具本体 1 内に収容し得る収容位置 (S) との間で動作し得る動作アーム 1 3 に本実施形態に係る転写ヘッド 2 を支持させて、転写ヘッド 2 の動作範囲をよりコンパクトなものとした転写具 A を実現している。その結果、転写ヘッド 2 を収容位置 (S) とした際の交換部品の交換もスムーズに行い得るものとなっている。

【0045】

そして、転写時に手指の動作のぶれをより有効に吸収して安定した転写をすべく、本実施形態に係る転写具は、さらに転写端 2 1 a から基端側に変位した位置に設定された軸心

50

周りに幅方向に首振動作可能に構成している。すなわち転写ヘッド2をヘッド本体21とヘッド取付部22とから構成し、ヘッド本体21をヘッド取付部22に対して首振動作可能に構成したものである。

【0046】

特に本実施形態では、ヘッド本体21の転写端21aをローリング軸Rの軸心を延出させた仮想の軸線よりも下側に配置することによって、転写時に転写ヘッド2に加えられた押圧力が首振動作によって逃げてしまうことを有効に回避することで、転写端21aが確実に転写対象物を押圧し得るものとしている。

【0047】

以上、本発明の実施形態について説明したが、各部の具体的な構成は、上述した実施形態のみに限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

10

【0048】

例えば、上記実施形態では縦引きの転写具に本発明を適用したが、巻取軸からテープを90度回転させることによって転写具本体を横向きに寝かせて転写する、いわゆる横引き式の転写具に適用してもよい。また、上記実施形態では修正剤を転写する転写具について説明したが、勿論粘着剤を転写する転写具に本発明を手寄与しても良い。またさらには、首振動作を行わない転写具や、リフィル交換式ではなく、使い切りであるディスポーザブルタイプの転写具に対しても、勿論本発明を適用することが可能である。

20

【0049】

また、上記実施形態の構成から、第1部材と第2部材を反対に構成する、すなわち、受入隙間を転写具本体側に適用したものであっても良い。特に上記実施形態では支点部材の先端縁を湾曲面とするとともに、図示したような曲面状に形成した凹陷部の両端を先端縁に適宜係り合わせることで第1部材と第2部材との間の滑らかなローリング軸回りの動作を実現している通り、支点部材に対して当接する挿入壁や凹陷部の形状の方を適宜設定することにより、ローリング軸周りの所要の動作を実現したものであっても良い。

【0050】

その他、各部の具体的な構成についても上記実施形態に限られるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

30

【図面の簡単な説明】

【0051】

【図1】本発明の一実施形態に係る転写具を示す外観図。

【図2】同転写具を示す分解図。

【図3】同転写具の転写ヘッドの動作を示す動作説明図。

【図4】同転写具の要部を示す構成説明図。

【図5】同要部の中央断面図。

【図6】図5に係るI-I線及びII-II線断面図。

【図7】図6に係る動作説明図。

【図8】同上。

40

【符号の説明】

【0052】

A ... 転写具

1 ... 転写具本体

132 ... 挿入壁

132a ... 凹陷部

13 ... 第2部材、動作アーム（動作アーム）

133 ... 外壁

14 ... 交換部品（リフィル）

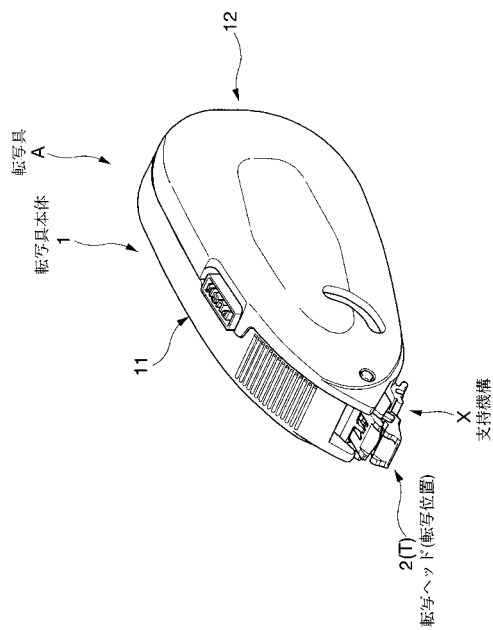
2 ... 転写ヘッド

22 ... 第1部材（ヘッド取付部）

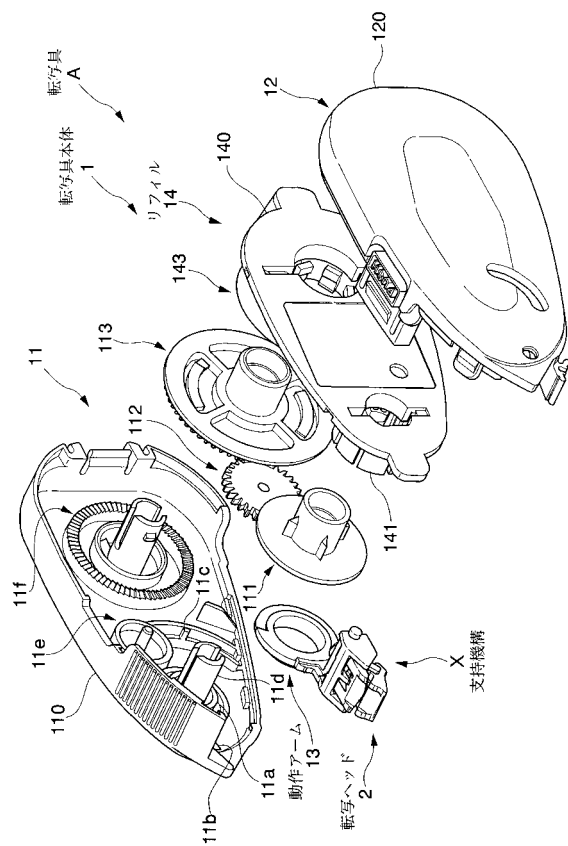
50

- 2 2 1 ... 受入隙間
 2 2 1 a、2 2 1 b ... 内側面
 2 2 2 ... 支点部材
 2 2 2 a ... 先端縁
 2 2 3 ... 抜止要素
 R ... ローリング軸
 T ... 転写位置
 S ... 収容位置
 X ... 支持機構

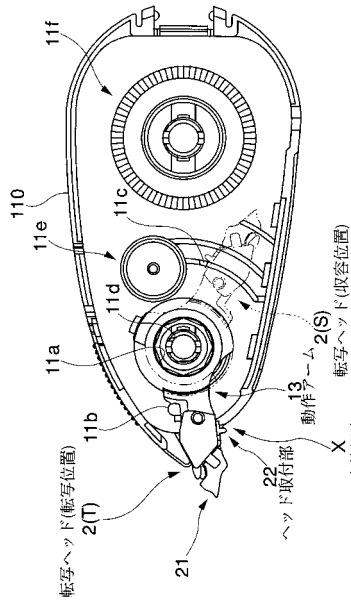
【図 1】



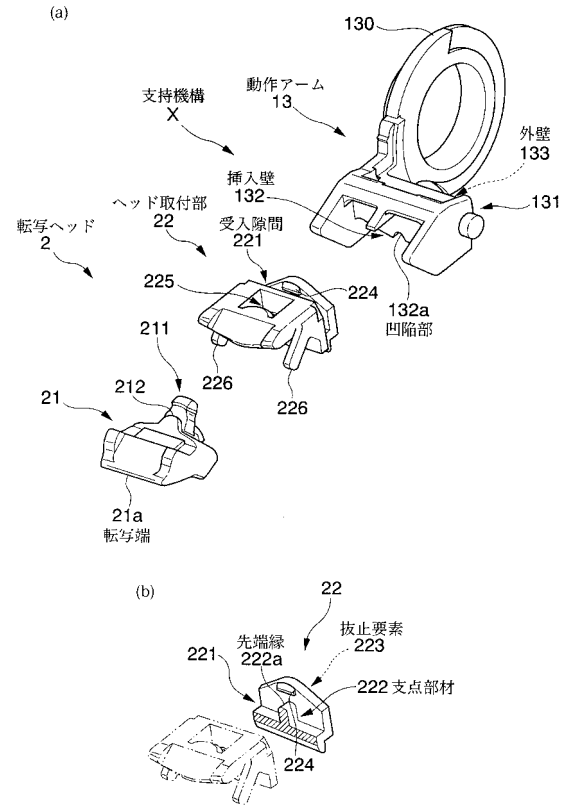
【図 2】



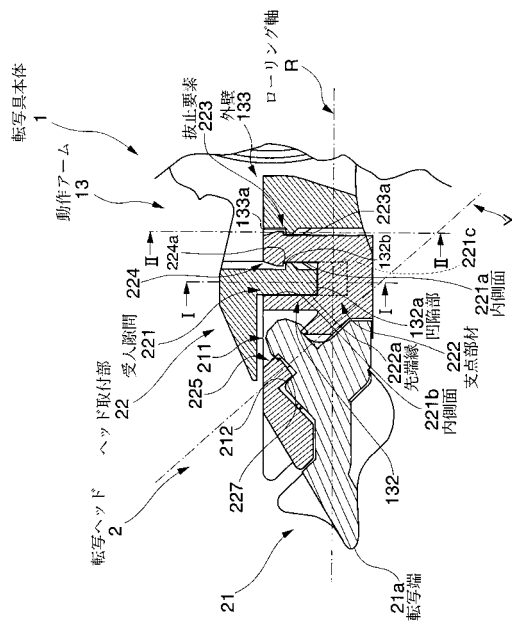
【図 3】



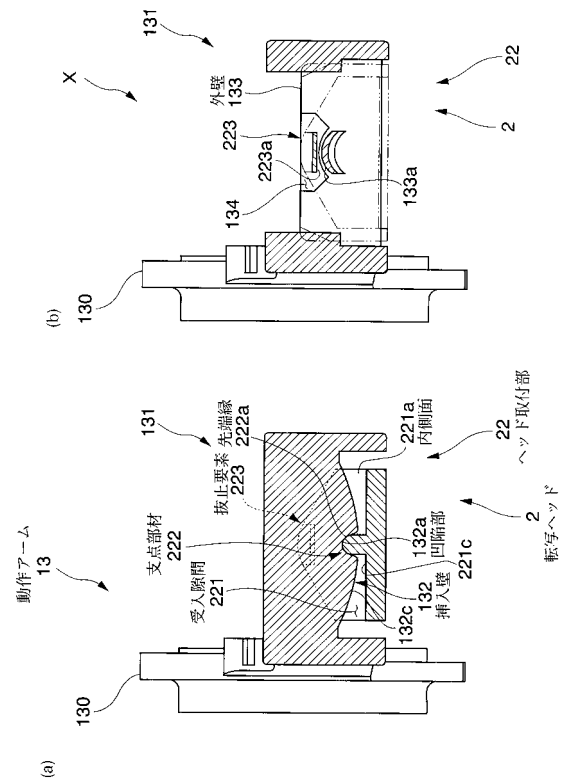
【図 4】



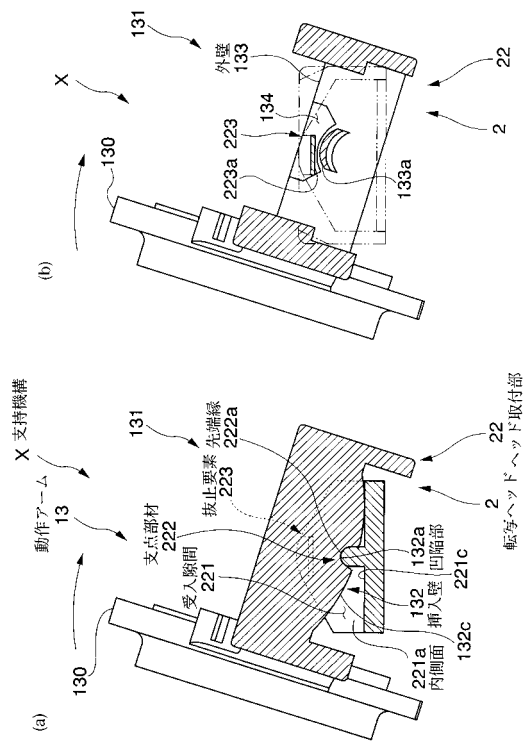
【図 5】



【図 6】



【 図 7 】



【 図 8 】

